



# 空中戦と道路

陸軍中將 長岡外史

アメリカのライト兄弟がフランスに行つて始めて飛行機を二町許り飛ばしたのが破天荒のレコードで、それが明治三十六年であるから、飛行機は今年取つて二十四歳の青年である。然るに彼れの生長發育は驚くべきもので、殊に彼れの十二歳の時に所謂世界戦争がオツ始まり、各國とも金力智力のあらん限りを盡して、其の改良進歩に餘念無かりし爲、其間の發達は恐るべきものであつた。而し

て平和克復後に於ても列國は白熱的競争を續け、今日に於ては確かに陸海軍を壓倒する丈の威力を備へたことは識者間の定論である。

英國の航空大臣ロード、トムソンは、昨年其の議會に於て

未來の戦争は、宣戦布告の日に、空中攻撃が始まる。其の目的は根底的に都市を破壊し、全然無政府状態に陥れるにありて、其の結果、其の國の艦隊や陸軍の行動は全く癱痺して仕舞ひ、空軍の獨り舞臺になること明瞭である。云々を説いた。

前獨乙皇帝ウイルヘルムは今より十年後、遅くも一千九百三十七年には、恐るべき大戦争が始まるに違ひ無い、と、凄じい豫言をなして曰く(本年七月)

此戦争は、宣戦布告の瞬時に、飛行機飛行船から成る、尨大なる空中艦隊は、無線に依つて、出動を命ぜられ陸上に於ては、焼弾、爆弾、毒瓦斯の類、海上に於ては、空雷、毒瓦斯投下の爲めに、總ての艦船は撃沈せられ、戦闘準備薄き國家は、四十八時間内に滅亡の運命に陥るだらう云々。

と云ふて居る。何も右は兩氏の御説宣を聞くまでも無く、分り切つた知れ切つた事であるが、念の爲めに其の各元の大略を述べれば、

## 焼 彈

テルミットを呼ばれる焼夷彈が、尤も有效である。酸化鐵ミ、アルミニウムより成り、曳火すれば直ちに攝氏三千度の熱度を出すもので、鋼でもなんでも、鉛のやうに鎔け出し、終にはボン／＼燃え出

すものである。其の彈の大きが、中徑一寸長さ三寸云ふ、小さなもので、アメリカの大型飛行機なれば、浦鹽斯德から東京、名古屋、大阪迄、壹千個を積んで、朝飯前に到着し、四五分の間に、雨霰を投げ附けて、悠々、又元のウラジホに歸るこゝが出来るものである。故に若し、敵國の飛行機が十臺も飛び來り、壹萬個のテルミットを投げ附けたら、大抵の都市は皆焼き拂はれて灰になる。嗟、テルミットは、木造より成る、我邦の都市には實に恐るべき凶器である。

### 爆 彈 (空雷)

大正十年アメリカに於て軍艦爆破の爲めに用ひた爆彈は、一千五百ポンド乃至二千ポンドで、最新最強の分捕戰艦、二萬三千噸の、オストフロイスライン號に、十四發擲げ附け、三發命中して、さしも世界最強を誇つた軍艦が、十四分の後に、艦影を没したこゝは、聞くさへ身の毛のよだつこゝであるが、都市の上には、こんな大きなものは持つて來ないだらう。這般戰爭中、獨機が倫敦市中に投下したものは、大低五十ポンドのものであつたが、それすら五層樓の天井をプチ抜き、地下に深さ三尺、廣さ一坪位の穴をあけて居つたのを私は實見した。今日は其の當時より飛行機が頗る大きくなつて、容易に大量を運び得るから、將來の戰爭に、我々の頭上に飛び來る爆彈は、三百ポンドを見てよからう。然れば尋常土に於て、凡そ深さ一丈二三尺の大破壊孔を穿ち、厚さ四尺以下の鐵筋コンクリートでは、逆も駄目だ。此空雷の目的は水道、電信、電話、電燈等地下の埋設物、水源地、大停車場、鐵橋等を根底的に破壊して、瞬間に全然無政府状態に陥れるものである。而して今日の飛行機は、一臺に二噸三百砵を積んで、

浦鹽斯德から、容易に東京にでも、大阪にでも遣つて來ることが出来る。

## 毒 瓦 斯

焼き玉よりも、爆彈よりも尤も怖いのは、含毒化學物である。ボスゲンジーボスゲンなご名けれ其の種類は、餘程澤山ある。其の傷害も色々で、或は眼の潰れるもの、或は無暗に鼻汁が出て、數時間内に五體中の水分の總てを排出して、ミイラ見たやうになるもの、グシヤミミセキを頻發し、僅かの間に呼吸器を破り盡すもの、若し夫れ一滴、人體に觸るれば、全身直ちに爛れ、皮膚も肉も腐れ出して、ポロ／＼剝脱して骨許りになるもの、等があつて、何れも數時間内に人畜蟲ケラの類迄を悉皆毒殺するものである。

毒瓦斯は右の如く餘りに酷<sup>酷</sup>たらしいものであるから、國際聯盟加入の諸國は、一昨年のヘーグ市の會議に於て、使用を禁止せられて居るが、米國の海軍卿フイルバー氏は、其の公演説に於て、毒瓦斯は實に人道博愛に適する武器である。若しこれの使用を禁止せんとする人若しくは國があるならば、それは戰爭を野蠻未開の原始時代の慘酷に引き戻さんとするものであつて、神の心に悖るものである。と放言して居る。其の議論の可否を茲に判斷せんとするは野暮である。戰時法規を楯に取らんとするは愚である。世界開闢以來戰時に國際法規の行はれたことは、一遍も無い。日清日露の役に、我軍が馬鹿正直に嚴守したのみである。我々は無論將來の戰爭に於ては、其の當初に敵の飛行機が飛んで來て、我々の頭上に第一着に、毒瓦斯を投げ附けられるもの、覺悟しなければならぬ。爆彈、燒彈

は猶ほ更である。

道路の構築改良、家の建築、都市の計畫等古くから相當に研究せられたもので、學者、専門大家の是に關する著述も少く無いが、近頃に至るまで誰一人、天空から瞬間に敵機が殺到して、殲滅的の大破壊を、道路、家屋、都市に與ふるものが出來やうとは夢にも考へなかつた。則ち夢想だにせざりし、空中攻撃の道具が、前述の如く恐るべき暴虐はうぎやくのもので、而もそれが日進月歩ひしんげつぽ云ふに於て、吾人は否應無しに之が對策を講ぜなければならぬ。金が要らうが、無駄が行かうが、一國滅亡の前には最早議論の餘地は無い。

然らば之を如何にすべきか云ふに、未だ歐米諸國に於ても、一定したる設計も構説も無いが、左の件々は必須のものにせられて居るものである。

## 道 路

- 一 道路及都市内の空地の總面積は、從來の都市に於て、大約市の總面積の三分ノ一を占めて居るが、今後は少くとも二分ノ一乃至三分ノ二に擴げなければならぬ。
- 二 歩道には、必ず樹木を植ゆることを要する。
- 三 主要なる道路の方向は、恒風と平行するを要す。是れ毒瓦斯を速かに消散せしむるが爲めなり。
- 四 道路は、出來得る丈け地形の傾斜を利用し、水を流して洗滌せらるゝを要す。
- 五 道路の方向は成るべく大なる空地貯水池の在る處に導くを要す。

六 道路の舗装には、毒物攝取の恐れある尋常煉瓦又は木製式を採らざること。

七 都市より田舎に通ずる道路例へば東海道大山街道、八王子、宇都宮、千葉街道の如きは頗る其の幅を廣くし歩道を設け必ず並木を植へ咄嗟の間に大多數の市民が地方へ避難せらるゝを要す。

八 右等の道路上に敷かれる電車は架空線を忌む其の效力の貯蓄所は成るべく深く地中に埋設し都市全滅の最後迄運轉せらるゝを要す。

九 地下鐵道の上皮は軍部の要求に聞かべし。雖も三百封度以上の爆彈に耐へらるゝを要す。深さ最小限尋常土にて一丈二尺、コンクリートにて四尺以上。

一〇 地下鐵道は常に市内の交通に便せらるゝのみならず遠く郊外に導き戰時避難者の便に供へざるべからず。

一一 敵は宣戰布告後第一着に水源地並に水道破壊を企つること必然なるを以て地下鐵道線内に可成多數鑿線の設備を要す。道路の所々にも亦然り。

右は此頃歐米大都市に於て盛んに研究せらるゝ項目を、ザツト書き列ねたるに過ぎないが其の一つを實行するにも莫大の金を要し、又大英斷を必要とする。況んや之を總合して實施せんことを、非常なる大仕事である。併しそれだからして日本の如き、木造より成る都市に於ては、打ち棄てゝ置くことは出来ない。殊に我邦の飛行界の貧弱さは、列強のそれに較べて御咄しならぬ現況であるから、殊更に其の必要を感ずるのである。